【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【公開番号】特開2000-152073(P2000-152073A)
【公開日】平成12年5月30日(2000.5.30)
【出願番号】特願平11-299012
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　5/243
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　5/243

【手続補正書】
【提出日】平成17年2月3日(2005.2.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　第１および第２の取り込み画像をもつ撮像システムにおけるひずみを補正する方法であって、
　運動推定技法を使用して上記第１および第２の取り込み画像の中のひずみをモデル化し、１組の非線形方程式を形成するステップと、
　上記記非線形方程式系を解き、１組の補正パラメータを生成するステップと、
　上記補正パラメータを使用して、上記取り込み画像の一方または両方からひずみを取り除くステップと、
を含む方法。
【請求項２】
　上記ひずみは、幾何学的レンズひずみである、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
　上記幾何学的レンズひずみに対して使用されるモデルは、以下の変換式：
　$x_g = x / \{1+\kappa_7 (x^2 + y^2)\}$
　$y_g = y / \{1+\kappa_7 (x^2 + y^2)\}$
によって与えられ、ここで、(x,y)は、補正されたピクセル位置であり、(x_g,y_g)は、ひずんだピクセル位置であり、κ_7は、ひずみ率である、請求項２に記載の方法。
【請求項４】
　上記ひずみは、照度変化によって生じる、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
　上記照度変化に対して使用されるモデルは、線形モデルである、請求項４に記載の方法。
【請求項６】
　上記照度変化に対して使用されるモデルは、口径食モデルである、請求項４に記載の方法。
【請求項７】
　上記非線形方程式系を解く方法は、多変数の非線形最適化方法である、請求項１に記載の方法。
【請求項８】
　上記非線形方程式系を解くステップが、

最初の解決パラメータ組を選択し、上記非線形方程式系を解決パラメータ組を中心に線形化し、上記線形方程式系を解いて、更新された解決パラメータ組を取得するステップを、制限されたステップ数についてまたは所定の収束の基準が満たされるまで繰り返す、ステップをさらに含む、請求項１に記載の方法。

【請求項９】

上記非線形方程式系は、幾何学的レンズひずみの補正を含む、請求項８に記載の方法。

【請求項１０】

上記非線形方程式系は、照度変化の補正を含む、請求項８に記載の方法。